



臨床糖尿病支援ネットワーク MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

糖尿病診療雑感

【当法人評議員】

たもり内科クリニック

多森 芳樹 [医師]

皆様、こんにちは。今月号の巻頭言を担当します多森芳樹です。

この号が皆様のお手元に届くのは、新年を迎えて落ち着いている頃と思いますが、原稿を作成しております今は2017年の年の瀬ですので、少し話題が古いことをお許しください。

2017年新語・流行語大賞に選ばれた“付度”ですが、“他人の気持ちをおしはかること”という意味だそうです。この付度、糖尿病診療においては、皆様いつも患者さんに行っていると思います。

“インスリン自己注射導入したいけど、注射はいやだろうな”

しかし、インスリン自己注射を勧めてみると、意外と受け入れてくれたり、ということも経験します。“注射はいや”はこちらの思い込みだったのか、と反省させられることも。

“付度と思い込みは紙一重”

この“紙一重”という言葉、2017年衆議院議員選挙中に、“しがらみと絆は紙一重”と某政党の某候補が言われていました。“紙一重”は、“ほとんど同じ”という意味でも使われますが、“少しではあるが違いがある”という意味でも使われると思います。

衆議院議員選挙といえば、“排除の一言で、流れが変わった”といわれますが、一言の重みを、言葉を使って仕事をしている我々は肝に銘じなければならない、と感じました。

また、この選挙でよく耳にした言葉が“リベラル”。“リベラル”を社民的という意味で使われる方もおられるようですが、リベラルは、全体主義に対峙し、個人の自由・責任を重んじる立場と解されます。個人の自由を重んじるには、自分の自由を主張するだけではなく、他人の自由を尊重しなければなりません。リベラルは多様性を重んじる立場でもあります。自らの価値観と同様に、他人の価値観を認めることから、リベラルは始まると思っています。

他人の気持ちを、自らの価値観でおしはかることが思い込み、他人の気持ちを、その人の価値観でおしはかることが付度、ということなのかもしれません。

<私の解釈ですので、間違っているかもしれません>

糖尿病診療において、教科書的な知識の教育はもちろん重要ですが、自らの価値観ではなく、患者さんの価値観で、患者さんの気持ちをおしはかることが大事ではないか？と感じた言葉でした。



読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LCDE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。

(「問題」は、過去のLCDE認定試験に出題されたものより選出、一部改変しております。)

問題 運動療法に関する変化ステージが「熟考期」にある患者の発言として正しいのはどれか、1つ選べ。

(答えは3ページにあります。)

1. 近くのスポーツジムの資料を取り寄せてみました
2. 運動しないと血糖値が下がらないのはわかっていますが、なかなか時間がなくて…
3. 1ヶ月前から一駅手前で降りて、歩くようにしています
4. 運動は苦手です。食事でがんばりますから
5. 運動しないとかえって調子が悪いくらいです



報告

第23回TAMA生活習慣病フォーラム

日時:平成29年9月9日(土)
場所:調布市文化会館たづくり

【本法人理事】 代表世話人 かたやま内科クリニック 片山 隆司 [医師]

平成29年9月9日(土)に調布市文化会館たづくりにて、第23回TAMA生活習慣病フォーラムが開催されました。テーマは「糖尿病性腎症重症化予防をいかに進めるか」～チームアプローチで未来を救うPart2～です。

第Ⅰ部 基調講演は、稲城市立病院 河原崎宏雄先生より、「当院における地域糖尿病診療の試み」として慢性腎臓病は高齢者の“病気”である事をデータに基づきお示しいただき、そして予防の取り組みとして市民講座やウォーキング実践教室を紹介していただきました。

第Ⅱ部 基調講演では、稲城腎・内科クリニック 力石昭宏先生より、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」策定を踏まえた「かかりつけ医」としての取り組みについてご講演いただきました。データヘルスの手法を利用した地域インフラ型の重症化予防プログラムの紹介と、かかりつけ医・専門医などの地域包括での診療連携が重要であることをお話していただきました。

第Ⅲ部 パネルディスカッションの症例は、「家族介護にて治療に困難をきたした腎症4期の1症例」を石黒先生より症例提示をしていただき、パネリストより各職種からの視点でできる事を提案していただきました。

終了後のアンケートにおいても、明日からの診療に生かせる・・・等さまざまな感想・ご意見をいただきました。回答者全員から「次回も参加したい」という回答をいただく事ができ、当フォーラムへの期待を実感する事ができました。



報告

第20回記念特別講演会 南多摩糖尿病教育研究会

日時:平成29年9月26日(火)
場所:パルテノン多摩

【本法人評議員】 南多摩糖尿病教育研究会代表 多摩センタークリニックみらい 藤井 仁美 [医師]

9月26日(火)、記念すべき第20回を迎えた本会はパルテノン多摩において「基礎からわかる糖尿病性腎症とCKD」をテーマに開催しました。

本会はディスカッション形式での開催を行ってきましたが、今回は試みとして、特別講演&パネルディスカッション形式において開催をし、合計86名の方々にご参加いただきました。

特別講演においては、日本医科大学多摩永山病院 腎臓内科 部長 金子 朋広先生より「糖尿病性腎症とCKD～多職種連携の重要性～」と題し、CKDの概念、eGFRの意味などの基礎から始まり、糖尿病透析予防外来において各職種で行っている活動内容について、実際に患者さんに渡している資料も提示し講義いただきました。

パネルディスカッションにおいては、医師:本城聡先生、栄養士:深谷祥子先生からは、それぞれの施設における糖尿病透析予防指導外来の実際として、糖尿病透析予防指導管理料が算定できず通常の栄養指導になってしまうケースなどの問題提起があり、薬剤師:森貴幸先生からは、糖尿病性腎症の予防的介入における調剤薬剤師の役割について、看護師:長沢純子先生からは、透析室の立場から透析導入前より患者さんがきちんと透析について受容のための関わり方について提示いただき、好評のうちに幕を閉じました。



次回は2018年3月or4月にて「基礎からわかるフットケア」をテーマとして開催します。本会へ参加したことがない人でも、どなたでもご参加いただけます。ご参加をお待ちしております！

報告

第22回糖尿病療養担当者のためのセミナー

日時：平成29年10月1日(日)
場所：東京経済大学

2017年10月1日に、『第22回糖尿病療養担当者のためのセミナー』が開催され、184名の方々にご参加頂きました。当セミナーは午前が講演会、午後は昼食セミナー（講義）及び分科会（グループワーク形式中心）の構成となっています。午前の部では、高村内科クリニックの植木彬夫先生より『持続血糖測定が変える糖尿病治療』の演題でご講演頂きました。次に特別講演として杏林大学医学部・眼科学・主任教授の平形明人先生より『糖尿病網膜症の治療の現状』と題してご講演を頂きました。平形先生のご講演では、糖尿病網膜症と心血管イベントの関連についてのエビデンスや、最新の診断・治療・技術が紹介され、また内科医と眼科医の連携の重要性についてもお話されました。さらに、実際に進行している病態を多くの画像で紹介して頂いたので、聴講者にもとてもわかりやすく、非常に興味深い内容でありました。

研究発表では昨年の学会等で報告した、当セミナーの研究内容の発表が行われました。午後の部の昼食セミナーは専門の先生方による講義形式で、糖尿病治療に関連した幅広い情報提供がなされました。また分科会は全員参加型のグループワークが中心となっており、職種・施設の壁を越えての活発な意見交換や情報共有の場となりました。参加して頂いた皆様には、当セミナーを通じて得られた『学び』や『気づき』を今後の診療の一助となる事を切に願っております。



研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

◆ 第4回 糖尿病とWell-aging研究会

申込必要

開催日：平成30年2月24日（土）16：00～18：10

場所：国立市商業協同組合 さくらホール（JR中央線「国立駅」南口下車 徒歩3分）

申込：FAX：042-526-4698（2/19締切）

問合せ：MSD(株)（担当：長谷川） E-mail:keiko.hasegawa@merck.com

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

☆日本医師会生涯教育制度（カリキュラムコード：7、15、76）：2単位申請中

☆日糖協療養指導医取得のための講習会：申請中

参加費
無料詳細資料の
同封あり

◆ 第15回 西東京インスリン治療研究会

申込不要

開催日：平成30年2月24日（土）16：00～19：30

場所：吉祥寺東急REIホテル 3階 むさしの（JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」北口下車 徒歩5分）

参加費：医師 1,000円 / 医師以外 500円

問合せ：サノフィ(株)（担当：日下） TEL：080-5886-5829

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：5単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：1単位申請中

☆日本医師会生涯教育制度（カリキュラムコード：76、82）：2単位申請中

☆日糖協指導医取得のための講習会：申請中

詳細資料の
同封あり読んで
単位を
獲得しよう

答え 2 下記の解説をよく読みましょう。

（問題は1ページにあります。）

解説 患者の健康行動への変容と定着には、5つの変化ステージ「前熟考期」「熟考期」「準備期」「実行期」「維持期」があり、各ステージが積み重なって、進んだり、戻ったりしながら進むと考えられている。「熟考期」は、自己の問題に気づき、問題の原因と解決法を理解しようとするステージ。わかっているが準備ができていない。迷ったり、遅らせたりする。意思決定バランスをともに考え、行動するための意思決定が必要とされる。

※ 糖尿病療養指導ガイドブック 2016 VI糖尿病患者の心理と行動 より

研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他
 腎臓病セミナー

申込必要

開催日：平成30年2月28日（水）19:00～21:00

場所：立川市女性総合センター・アイムホール（JR中央線「立川駅」北口下車 徒歩7分）

申込：FAX：0263-54-5022（2/21締切）

参加費
無料詳細資料の
同封あり

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本栄養士会生涯教育臨床栄養：1単位

◆西東京CSII普及啓発プロジェクト 第13回研修会

申込必要

演題：『Libreの活用法を語る』

開催日：平成30年3月6日（火）19:20～21:00

場所：立川相互病院横 薬局棟2階・講堂（JR中央線「立川駅」北口下車 徒歩8分）

参加費：当法人会員 1,000円 / 一般 1,500円

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（2/27締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

詳細資料の
同封あり

◆第21回 南多摩糖尿病教育研究会

申込必要

開催日：平成30年3月8日（木）19:10～21:10

場所：パルテノン多摩 4階 第一会議室（京王線・小田急線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車 徒歩5分）

申込：FAX：042-400-5952（3/1締切） 参加費：500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

☆日本医師会生涯教育制度：1.5単位申請中

詳細資料の
同封あり

◆臨床糖尿病支援ネットワーク 糖尿病災害対策委員会 第6回医療者向けセミナー

申込必要

テーマ：『被災者への適切な対応を考える～良かれと思うNGワード?!～』

開催日：平成30年3月9日（金）19:20～21:00

場所：立川市女性総合センター・アイムホール（JR中央線「立川駅」北口下車 徒歩7分）

申込：当法人ホームページのイベント情報にある「申込みフォーム」よりお申込みください。（3/2締切）

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

参加費
無料詳細資料の
同封あり

◆第34回 武蔵野糖尿病研究会

申込必要

開催日：平成30年3月10日（土）14:50～16:30

場所：国立市商業協同組合 さくらホール（JR中央線「国立駅」南口下車 徒歩3分）

申込：FAX：042-400-5952 参加費：500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

詳細資料の
同封あり

◆第24回 TAMA生活習慣病フォーラム

申込必要

開催日：平成30年3月17日（土）17:00～19:30

場所：調布市文化会館たづくり 12階 大会議場（京王線「調布駅」下車 徒歩3分）

申込：FAX：042-400-5952（3/9締切） 参加費：500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：3単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

詳細資料の
同封あり

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局
〒185-0012
国分寺市本町2-23-5 ラフィネ山No.3-802
TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
https://www.cad-net.jp/
Email:w_tokyo_dm_net@crest.ocn.ne.jp

編集後記



最近活動量計を携帯しています。年末の大掃除をした日のこと、1日掃除しかなりの疲労でしたが、歩数はいつもの1/3程度。まあ、確かに歩いてはないし…と思いつつ、消費エネルギー量を見ると、いつもと同程度以上の消費が！？ちょっと嬉しく、また次も頑張ろう、なんて、単純ですが思えました。最近の活動量計のすごさに感心したと同時に、やる気に繋がる評価というのは大切だな、などと感じた日でした。（広報委員 永田 美和）